



もいまち

議会だより

平成28年(2016年)5月
第67号



写真/三倉小児童によるアマゴの放流

《主な内容》

平成28年度当初予算 他 **2**

委員会報告

預かり保育全幼稚園で実施・「減災」を継続的に **4~5**

一般質問

空き家のリフォーム支援の推進 他 **7~11**

太田町政スタート

骨格予算

森町議会は、3月定例会を11日から28日までの会期18日間で開催しました。28年度予算をはじめ、条例や補正予算など、提案された33議案を審議しました。一般質問は、空き家のリフォーム支援、来訪客の周遊、ふるさと納税、総合戦略、新町長の今後の展望、森町袋井インター通り線の事業進捗、買い物支援、未就園児の一時預かり制度、高齢者と観光者へのインフラ整備など、9人が質問をしました。(7P~11Pに掲載)

平成28年度当初予算

一般会計は、62億4900万円とし、前年度と比較して15.7%減額となりました。

今回の当初予算は、太田町長が3月10日に就任して間もないため、人件費などの義務的経費や継続事業を主体として編成した骨格予算となっております。今後、太田町長の意向を踏まえて、政策的な経費を臨時議会で議論していくこととなります。

歳入は、町税(町民税、固定資産税など)が軽自動車税の増などにより172万8千円(0.1%)の増加となります。

主な事業

第9次総合計画策定

森町の今後10年間のビジョンの策定
(987万1千円)

森小学校防災機能強化事業

森小学校の防災機能強化を目的として、雨漏りによる天井材の落下や外壁材の落下防止のため、校舎の屋上と外壁の補修を行う
(5731万6千円)

預かり保育事業

28年度から預かり保育を、休園中の三倉幼稚園を除くすべての園で実施する
(1239万7千円)

木造住宅の耐震化等を促進

昭和56年5月以前に建築した木造住宅の耐震化に関する補助金
(771万4千円)

〈当初予算における主な歳入・歳出項目の推移〉

(万円未満四捨五入)

歳入項目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
町 税	23億5,899万円	23億5,726万円	24億8,109万円	24億4,157万円	24億 756万円
地 方 交 付 税	13億3,000万円	13億3,000万円	13億3,000万円	13億2,000万円	13億5,000万円
国 庫 支 出 金	5億4,929万円	5億3,838万円	5億2,700万円	5億6,886万円	5億5,652万円
県 支 出 金	3億9,534万円	4億1,549万円	3億8,884万円	4億5,903万円	4億5,449万円
繰 入 金	2億6,656万円	5億 799万円	3億8,834万円	2億1,187万円	9,787万円
町 債(借入金)	3億8,020万円	12億1,040万円	7億1,110万円	7億8,350万円	6億9,730万円

歳出項目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
民 生 費	19億5,371万円	19億3,845万円	19億2,749万円	18億 502万円	17億3,646万円
衛 生 費	9億9,700万円	10億3,654万円	10億1,717万円	10億2,847万円	10億3,061万円
教 育 費	8億1,334万円	8億3,313万円	7億2,569万円	7億4,394万円	7億6,023万円
総 務 費	8億 288万円	8億5,985万円	9億1,780万円	7億9,645万円	7億2,473万円
消 防 費	3億5,063万円	10億3,219万円	4億3,741万円	3億9,220万円	3億6,467万円
土 木 費	3億2,347万円	6億8,060万円	6億4,454万円	8億3,561万円	7億1,335万円
農 林 水 産 業 費	1億6,769万円	2億 796万円	2億4,024万円	2億5,021万円	2億 690万円

討 論

一般会計予算

【賛成討論】

平成28年度当初予算は、義務的予算を主体とした骨格予算になっているが、町行政運営に支障のないように、需用費や各種委託料などの物件費および継続して取り組む必要がある事業などが盛り込まれている。(中根幸議員)

主要事業に、男女共同参画計画の策定や新東名関連のPR、預かり保育など、成果に期待が持てる事業が組み込まれている。

また、学校施設・子育て環境整備の充実と住民の生活基盤の安定を図った予算編成である。(伊藤議員)



森町のPRパンフレット
県内外の高速道路SA・PAに配置

水道事業会計予算

【反対討論】

命をなくくむ水に消費税はかけるべきではない。遠州水道受水4市1町として給水見直し等を粘り強く働きかけることを望む。(西田議員)

【賛成討論】

中遠広域最終処分場(一宮)への追加給水や、内陸フロントティアによる事業所進出で使用水量・料金収入増加が期待できる。効率的な事業運営、安心・安全な水の供給、災害に強い水道事業に期待する。(山本議員)

条 例

森町病院事業の使用料及び手数料条例 (一部改正)

訪問診療や往診時の自動車使用料が、距離による料金の加算方式では、地域により不公平なため、町内一律の額に改正しました。

森町長の給料の特例に関する条例

町長の給料及び退職手当の1割を削減することを承認しました。

森町行政不服審査会条例

行政不服審査法が改正されたことに伴い、森町行政不服審査会を必要と



防災機能強化工事が行われる森小学校

きに設置して、運営するための条例を制定しました。

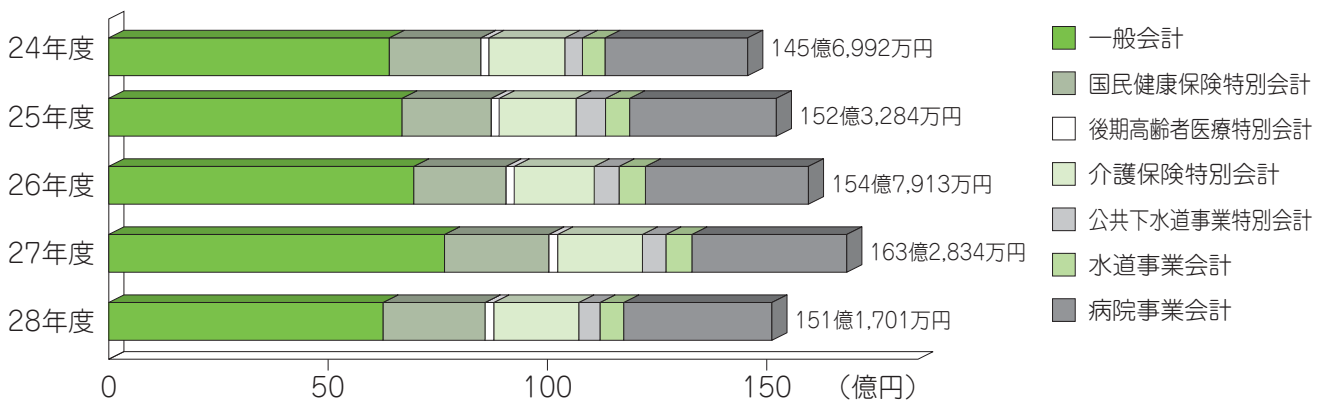
人 事

森町農業委員会委員

森町農業委員会委員として、次の各氏の任命に同意しました。

- | | |
|-------|-------|
| 富田規与美 | 澤口 久雄 |
| 花嶋 政美 | 石橋 康利 |
| 鈴木 要一 | 倉嶋 讓 |
| 鈴木 剣 | 竹内 靖代 |
| 佐野 敦子 | 石黒 茂 |
| 増田多喜男 | 亀澤 進 |

<会計別予算の推移>



第一常任委員会

預かり保育

全幼稚園で実施

Q 預かり保育に携わる幼稚園教諭もしくは保育士の人数は

A 指導員の体制としては、対象園児が10人以内であれば1名、10人を超えれば2名とし、2名体制の場合、指導員1名が有資格者であれば、支援員は無資格者でもよい。有資格者の確保が難しく探しているところである。

Q 訪問診療及び往診時における自動車の使用手数料を「1回につき町内300円、町外500円」という一律の金額にする理由と実績は

A 森町内での格差廃止が目的で、訪問看護ステーションの金額に合わせ

た。12月の実績は、森町病院が41件、家庭医療クリニックが36件であり、件数における地域差は特にならない。

Q 昨年からの役場と電力供給契約を結んでいる、日本ロジテック協同組合の経営破綻による影響は

A 27年6月より日本ロジテックと契約を結び、役場、保健福祉センター、文化会館、町営グラウンド、飯田小、森小、宮園小、全中学校を新電力に切り替え、200万円ほど費用が抑えられることになっていた。今回の破綻に伴い他の企業より見積もりを取り、一番安価だった鈴与商事(株)と本年4月1日から契約を結ぶ予定である。費用

第一・第二常任委員会は、3月17日、18日、22日の3日間にわたり、平成28年度予算などの議案について、審査を行いました。審査の主な内容を報告します。

は、中部電力よりも400万円ほど抑えられる。

Q 内陸フロンティアを拓く取り組みについて進捗状況は

A 27年度は中川工業区域周辺の詳細調査を実施し、計画に沿って動き出し

ている。また、28年1月にIC及びPA周辺の開発について、県事業によるアドバイザー派遣を受けて、地域づくりの懇談会を開催した。28年度についても、継続してIC及びPA周辺の開発について、検討を重ねていく予定である。また、企業誘致の補助金については、何社かが相談に来ており、今後、政策的な予算で対応していきたい。

Q 歴史民俗資料館入館者数減の対策と旧郡役所としての価値は

A 改善策としては、イベントの開催や施設的环境整備、展示物のきめ細かなローテーションなどが考えられるが、いずれも現状の施設では難しい。全国に残存する旧郡役所の建物は全33棟で、県内では森町の周智郡役所だけで、大変価値の高いものであると認識している。見学しやすい場所への移転や、旧郡役所としての価値を引き出す方法等を検討する必要性は感じている。



歴史民俗資料館(旧郡役所、蓮華寺境内)

第一常任委員会

Q 橋梁13橋の点検内容は

A 法律により橋長2メートル以上の橋梁は、5年に一度の点検が義務付けられている。今回の13橋は、県一括発注による橋長15メートル以上の橋梁であり、点検は、近接目視、打音検査等で点検する。森町には286の橋梁があり、今後の補正予算で15メートル以下の30橋弱の点検を委託する事業を予定し、職員が行うものも含めて毎年60から70橋を点検していく。



点検・修繕を行っている天森橋

『減災』 を継続的に

Q 建築物等耐震化促進事業の過去の実績と補助の内容は

A 平成15年度から実施してきた累計は、無料診断が619戸、そのうち補強計画の策定戸数は69戸、1件当たり約20万円のうち14万4千円を補助している。また、補強工事をした戸数は56戸で、耐震に係る事業費は最近3年間で1件当たり213万8千円、1戸当たり補助額は、26年度の額にそれぞれ30万円を増額し、27年度は一般対象世帯が90万円、65歳以上の高齢者等世帯が110万円となっている。このほか53件のブロック塀の撤去も行われた。

Q 個人番号カードの申請・発行状況は

A 3月11日現在の申請枚数は1163枚で、すでに役場に発送されてきた個人番号カードは806枚、このうち419枚が交付済だが、受け取りに來ない人もあり継続的に案内をしている。

Q ジェネリック医薬品の普及状況は

A ジェネリックの利用促進を5年ほど行ってきたが、差額通知を作成しジェ

ネリックに切り換えるように、保健師が訪問し説明している。ジェネリック利用表示の保険証ケースを加入者全員に配布しているため、原則的には薬局で提示すればジェネリックに切り換えられる。1月現在、数量ベースで約33%の利用で、利用者も増えてきている。

Q 耕作放棄地解消保全農地等創出事業の内容は

A 県の新規単独事業で事業費は100万円、うち2分の1の50万円を町が負担する。耕作放棄地解消のため地域で団体を作り、交付金を活用し草刈りや整地、水路の復旧などを行った。山に面した農地を保全管理化する事業である。

Q 地域材利用木造住宅推進補助金80万円の事業内容は

A 町内の建築業者により木造住宅・店舗兼木造住宅を新築する場合と10㎡以上の増築をする場合に、浜松市、袋井市、磐田市、掛川市、森町の地域材を町内材木業者から購入する建築主に対して、1件10万円を限度に補助するもので、この2年間の実績は13件である。



森町体験の里 アクティ森

一般議案

公の施設の指定管理者を指定

平成28年3月で期間が満了する8施設を、引き続き同じ指定管理者に指定しました。

- ・ 森町園田総合センター
- ・ 森町飯田総合センター
- ・ 森町三倉総合センター
- ・ 森町大河内林業センター
- ・ 森町一宮総合センター
- ・ 森町天方生活改善センター
- ・ 森町体験の里
- ・ 森町児童館

3月定例会の審議結果

議案名		結果	備考	議案名		結果	備考	
人事	森町農業委員会委員の任命	同意	全員賛成	一般議案	公の施設の指定管理者の指定 (森町大河内林業センター)	原案可決	全員賛成	
	森町農業委員会委員の任命	同意	反対 鈴木議員 西田議員		公の施設の指定管理者の指定 (森町一宮総合センター)	原案可決	全員賛成	
条例	森町長の給料の特例に関する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定 (森町天方生活改善センター)	原案可決	全員賛成	
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定 (森町体験の里)	原案可決	全員賛成	
	森町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定 (森町児童館)	原案可決	全員賛成	
	森町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		当初予算	平成28年度森町一般会計予算	原案可決	全員賛成
	森町職員の退職管理に関する条例	原案可決	全員賛成			平成28年度森町国民健康保険特別会計予算	原案可決	全員賛成
	森町行政不服審査会条例	原案可決	全員賛成			平成28年度森町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全員賛成
	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	全員賛成			平成28年度森町介護保険特別会計予算	原案可決	全員賛成
	森町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成			平成28年度森町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	全員賛成
	森町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	平成28年度森町大久保簡易水道事業特別会計予算		原案可決	全員賛成	
	森町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	平成28年度森町三倉簡易水道事業特別会計予算		原案可決	全員賛成	
森町病院事業の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	平成28年度森町大河内簡易水道事業特別会計予算	原案可決		全員賛成		
一般議案	公の施設の指定管理者の指定 (森町園田総合センター)	原案可決	全員賛成	平成28年度森町水道事業会計予算		原案可決	反対 西田議員	
	公の施設の指定管理者の指定 (森町飯田総合センター)	原案可決	全員賛成	平成28年度森町病院事業会計予算		原案可決	全員賛成	
	公の施設の指定管理者の指定 (森町三倉総合センター)	原案可決	全員賛成	発議	精神障害者の交通運賃割引に関する意見書の提出	原案可決	全員賛成	

2月臨時議会

2月臨時議会が2月2日と29日に開催され、一般会計補正予算などについて審議し、原案とおりに可決しました。

専決処分

森町税条例の一部を改正する条例

個人番号の利用の取扱いを見直す方針が、税制改正大綱により示されたことにより一部改正が必要となりました。条例の専決処分について承認しました。

補正予算

2月2日臨時議会

一般会計補正予算(第8号)

一般会計 減額 2086万9千円
総額 78億7166万円

主な内容は職員給与等の調整
人事院勧告に伴い、国の給与改定に準じて増額758万4千円
職員退職などによる減額3388万6千円

天方城址の展望台側面に看板を設置する工事他

2月29日臨時議会

一般会計補正予算(第9号)

一般会計 追加 2億7594万7千円
総額 81億4760万7千円

摩耶保育園の園舎改修事業への補助金120万4千円

臨時福祉給付金給付事業(低所得の高齢者向けの給付金で、一人あたり3万円を給付)7652万2千円

個人番号の情報連携業務に備えた情報セキュリティ強化対策2667万6千円

子ども医療費扶助費が、予算を上回る見込みのため増額122万円他

町議会議員補欠選挙

2月14日の補欠選挙の結果、新たに2名の議員が決まりました。



岡野 豊 (赤松)
初当選



中根信一郎 (橋)
初当選

町政を問う ～一般質問～



伊藤 和子

空き家のリフォーム支援で 移住・定住の推進を

問 移住・定住の観点から、空き家の利活用の推進は、住民の関心度も高く、早急に取り組むべき課題となっている。

移住・定住の促進、地域の活性化を図る空き家バンク創設の考えは。

町長 少しでも移住・定住者を増やしていくという観点から、今後、詳細な空き家の実態把握や、取組市町への調査をしていく中で、検討していきたいと考えている。

問 空き家のリフォーム工事等に対する補助金交付の考えは。

町長 リフォーム支援は、移住・定住促進にもつながる方策であると認識している。今後、空き家の現況把握や所有者の利活用についてのアンケート調査結果などを踏まえ、総合的に判断していきたい。

問 空き家の適正管理、利用の推進、新たな空き家の発生予防に関する空き家の条例制定の考えは。

町長 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が成立していることから、法に基づいての対応を考えている。しかし、今後、条例が必要になる場合は、条例の制定を検討していきたい。



徳島県神山町の空き家
起業家等に貸し出し商店街の再生を目指している



桜の花見でにぎわう小國神社



吉 筋 恵 治

太田町政を聞く

問 町長就任挨拶で人口減少は大きな課題であると言われた。主な政策を伺う。

町長 町長選挙で人口減少対策の3つの取組を掲げた。「結婚・出産・子育て支援の充実」「定住・移住の促進」「生活環境の整備」の取組を着実に実施する。

問 前町政と違う目玉となる政策は何か。

町長 現状で申せば、ふるさと納税の積極的な展開と子ども医療費支援の充実に取り組みたい。

問 ふるさと納税の目標の数値を伺う。

町長 ふるさと納税は寄附金なので、目指す額の公表の考えはない。

問 森町には年間推計で110万人の来訪客があるが、約90万人の方は小國神社参拝のあと帰られてしまうと聞く。来訪者を中心市街地やアクティ森への周遊していただく取組を伺う。

町長 森町内全体を対象に周遊できるコースの検討をしたいと考えている。

問 来訪客が中心市街地に周遊していただく為の拠点作りが必要と考えるがどうか。

町長 私の中での構想だが街中に拠点があれば街中を周遊していただけると考えている。

町政を問う ～一般質問～



亀 澤 進

ふるさと納税とICT化の推進

問 ふるさと納税への積極的な取り組みと、ICT化の推進について考えを伺う。

町長 ふるさと納税は、森町の特産品等のPR等を通じた地域経済の活性化や、森町ファンを増やしていくという意味合い、そして、歳入確保にもつながるものと考えている。

今後の取り組みについては、謝礼品について、地元の多くの業者に広く参加していただき、お礼の品数を可能な限り増加させて、寄附者が幅広く選択でき、ふるさと納税をしやすい仕組みづくりと体制を整えていきたい。

ICT化の推進は、限られた人員の中で効率よく業務を行い、住民への行政サービスを向上させるために必要不可欠なものと考えている。

28年度より、庁内のICT知識や能力を持った若手職員などを中心に「森町ICT活用検討会」を発足させ、その中で課題を整理しながら行政運営に活用していきたい。

また、町の公共施設のインターネ

ット、スマートフォンを利用した施設予約システムの導入やWiFi公衆無線LANを推進する。これらは、選挙公約の目玉の一つとして、先進事例を研究・検討し、森町に合った事業を進める中で、太田町政の突破口あるいは試金石として考えている。



ふるさと納税の情報を掲載している民間のウェブサイト



小沢 一男

森町創生の進め方は

問 森町版総合戦略の進捗状況の把握と目標の管理は。

町長 「森町版まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、子育てや多様な交流、雇用の場の確保、安心して暮らせるまちづくりの四つの基本方針を掲げている。

これに沿って、進捗状況の把握や目標の管理をしながら事業推進をするため、28年度各課に地方創生に関する職場管理者を選任して責任持って対応していきたい。

問 近隣市町のサービス合戦、連携強化、調整は。

町長 森町に隣接する市との関係性を重視する。広域連携を図ることでメリットが生じる事業、例えば産業振興、交通機関の連携などを調整実施していく。

ふるさと住民票制度の考えは

問 町外で暮らす森町出身者などに、広報もりまちや2万人まつり、森の祭りなどの情報伝達とともに、「地産地消」や近年では「互産互消」で、地域間交流により知恵と活力を生み出し、人と人の交流が創生につながると思うが。

町長 森町出身者や森町に関心を持った方に、まちづくりへの参加の機会や、サービスの提供は効果的である。今後、県や近隣市町の状況調査、先進地の取組を研究する。

その他の質問

・地域包括ケアシステム・生活支援体制整備事業について
・うつ病対策、認知行動療法の認識について

町政を問う ～一般質問～



鈴木 托治

前町長の評価と

今後の展望は

問 新町長が誕生し、森町の指導者としての期待と、人口減や低迷する町内経済の活性化という今後の行政の資質が問われる。町長選では前町長の路線を継承すると表明しているが、前町政をどのように評価しているか伺う。

町長 森町単独という路線のもとに、協働のまちづくりの推進、国や県の補助金等を有効に活用しての事業実施など、前町長の取組で効果のある方針について今後とも継続していく。さらに内陸フロンティアの推進を通じての企業や人の誘致、土地利用の活性化、人口減少対策、遠州の小京都を活かしたまちづくりなど前町長が取り組んできた成果を踏まえて実効性ある施策を検討、実施していくことで、よりよいまちづくりを進める。

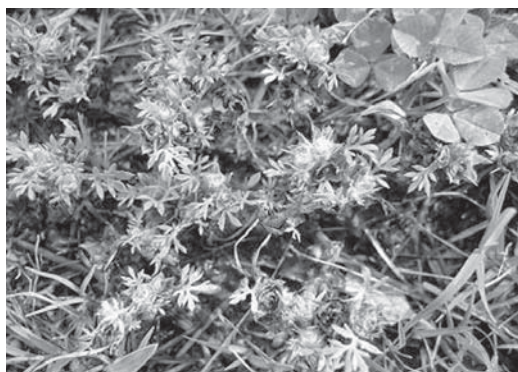
危険な植物メリケントキンソウ

問 メリケントキンソウといわれる南米原産の植物が、袋井市・磐田市

等で発見されている。主に公園内の芝生の中で発見されており、今後放置すると、けが等被害が懸念されるが対策は。

町長 現在森町での発生は見られない。その性質から、町内への進入を防ぐことは困難だと考える。

近隣市や造園業者等から情報提供を受け、被害報告や問合せがあった場合に速やかに対処できるよう、対策の準備をしていきたい。



メリケントキンソウ
種子にトゲがあり、靴の裏等に刺さり分布を広げる



円田なかよし広場付近

問 森町袋井インター通り線の都市計画変更等の手続きはどこまで進められたか。また、要望度の高い円田から谷中駐在所に至る1.2km区間の事業着手時期について伺う。

町長 森町袋井インター通り線は、新東名「森掛川IC」と東名「袋井IC」とを結ぶ都市計画道路である。当初4車線で計画されたが、円田から袋井市深見に至る5.13kmの区間は、将来交通量予測から2車線への計画変更に向け、関係機関等との協議を行っている。今後、地元説明会



中根 幸男

森町袋井インター通り線の事業着手時期は

などを行い、平成29年3月の県都市計画審議会において計画決定できるよう進めていきたい。

また、円田から谷中の区間は、県の「事業着手準備制度」により、地域住民、関係地権者との合意形成を図ってきた。その後、本区間の事業化は、条件付きで採択され、早期事業着手に向け、一層の協議調整を進めていきたい。

職員研修と人事交流は

問 平成28年度の職員研修計画と、県等との人事交流は、どのように考えているか。

町長 平成28年度の職員研修計画は、例年の新規採用職員や中堅職員等の研修、スキルアップ向上などの派遣研修と町単独のメンタルヘルス研修、政策研修などを行う。

県等との人事交流は、現在、地方公共団体情報システム機構等に派遣を行っている。また、県の技術職員の長期派遣制度も検討していきたい。

町政を問う ～一般質問～



西田 彰

所信表明の具体的な政策は

問 人口減少対策について。子ども医療費無料化を18歳未満としないのか。せめて中学卒に引き上げないか。他の市町に先駆ける必要がある。

町長 子ども医療費の無料化、子育て支援の重要施策である。しかし、高校生以下を対象として実施すると2644万円、中学生以下でも1361万円の財政負担となる。今は、受診頻度の高い未就学児の無料化を実現させたい。

問 買い物支援の移動販売、私も賛成だが、実現性はあるか。

町長 買い物支援、聞くところ、宮の市がファミリーマートになり、移動販売を検討中と聞く。要請があれば支援を検討したい。

問 町内循環バスを議会が提案したが、実現させる考えは。

町長 町内循環バス、議会の提案そのものでは導入は難しい。財源、民

間バスとの競合の問題等クリアすべき課題が多い。

問 予想される東海大地震での原発事故、浜岡は不安である。再稼働はおろか廃炉を考えるべきだが。

町長 福島原発事故が収束していない中で、住民の安全・安心や原発への信頼性を考えると、浜岡原発の再稼働は、現時点では住民の理解を得ることはかなり難しいと思う。



ファミリーマート森町宮の市店



岡野 豊

未就園児の

一時預かりの実施は

問 保育所を利用していない保護者への支援として、突発的な事情で家庭での保育が困難になった場合の一時預かり制度の実施について伺う。

町長 当町の未就園児の支援策として、保育園に在籍していなくても保護者の疾病、入院等止むを得ない理由により、一か月最大20日を超えない範囲で未就園児を受け入れる、「緊急一時保育事業」を、ときわ保育園、摩耶保育園において実施している。

また、袋井市、森町の1市1町では、育児の手助け、困った人のお手伝いをする、袋井市ファミリー・サポート・センター事業を実施しており、急用時に一時的に未就園児の一時預かり等にも対応している。
森町での未就園児の一時預かり制度の実施については、保育所と同様の基準があり、敷地面積、保育士等の職員配置とともに、既存の子育て支援センター事業との調整も必要となるため、事業実施が可能であるか



小規模保育所（保健福祉センター2F）

検討したい。

今後はファミリー・サポート・センターの利用をさらに啓発し、周知を図っていく。

町政を問う ～一般質問～



中根信一郎

高齢者、観光者への

インフラ整備は

問 高齢者の方達の足代わりを作り、活力ある暮らしを送っていただき観光客への利用やスクールバスとの兼用ができれば最適と考える。利用者数、観光客数の調査が必要と思うが、町長に伺う。

町長 交通空白地域、交通弱者の足を確保することは必要であると考えている。様々な側面で利用できるのが望ましいことは理解しているが、経費、路線バス、民間事業などの課題の調整を含めて、町全体の生活の足の確保を検討していきたい。

問 町民の森の遊歩道沿いに桜、紅葉を数年かけて植林して、観光名所とすれば、森町のPRになると思うが考えを伺う。

町長 新東名高速道路遠州森町スマートICから数分で来ることが可能で、多くの方に来ていただけると、パンフレットを刷新した。昨年、もみの木1本と、いろはもみじ60本を植樹し、桜は土質に合わず断念した。

憩いの場、安らぎを与えられる保安林として管理していきたい。

問 街中で行う行事に訪れる観光客のために旧児童館辺りに、トイレを設置したらと思うが考えを伺う。

町長 イベント時のトイレは、主催者が行うものであると考える。町内の公共施設等のトイレも解放しており、観光トイレ規模の設置は設置費用、管理費も高額なため、まずは仮設トイレの設置の検討からが良いと考える。



町民の森

みんなのこえ

Yes
I
Can!!



森少年野球クラブ スポーツ少年団

私たち、森少年野球クラブスポーツ少年団は昭和49年に発足以来、今年で43年目を迎えます。現在の団員は1年生から6年生までの15名(森小学校、天方小学校)で構成されています。

笑顔を大きな声のあいさつができるよう日頃から心がけており、グラウンドでは大きな声が飛び交っています。野球以外にも他チームとの食事会なども行い交流を深め小学校生活の良い思い出が出来るような活動をしています。

代表 古川 敏勝

議会を聴きにきませんか

前回の議会では、のべ26人の方が、議会へ足を運んでくださいました。めんどろな手続きは必要ありません。是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<6月定例会の予定>

- 6月10日(金) 本会議 初日
- 6月15日(水) 常任委員会
- 6月16日(木) 本会議 2日目
- 6月24日(金) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

議会報告会

今回は子育て世代を対象として意見交換会を開催します。時期は、7月末を予定しております。

現在、全議員による行財政問題(課題)研究会で人口減少問題を議論しています。町民のみなさまのご意見をうかがい、参考にさせていただきます。

なお、従来の議会報告会は、開催いたしません。各町内会、各種団体等の要望がありましたら、町内会単位等で開催いたします。地元議員または議会事務局までご連絡ください。

ひとこと

今年も新茶のシーズンがやってきました。私はこの新茶の季節がとても好きです。茶園が一斉にもえぎ色に染まり「風薫る」という言葉がぴったりきます。そして、森の町ではお茶の香りが漂い活気が感じられます。また、気持ちをリフレッシュできるのもこの時期ではないでしょうか。

昨年、森町は65歳以上の健康寿命が男女共に1位になりました。その要因は、1運動、2食生活、3社会参加だとして、お茶を飲む習慣があるのも大変良いということでした。

皆さんも是非お茶を飲んで健康増進を図ってください。 Y・なかね

議会だよりは年4回発行

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 片岡 健 |
| 委員長 | 山本 俊康 |
| 副委員長 | 中根 幸男 |
| 委員 | 吉筋 恵治 |
| 委員 | 小澤 哲夫 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 委員 | 岡野 和子 |
| 委員 | 中根 信一郎 |